

「仕事を見直すアンケート」では、支部エリアは本庁が中心で圧倒的職員が組合未加入であるが、「府民のために、やりがいのある仕事を目指すために」と呼びかけると、声をかけた職員の半数の協力が得られた。職員も多くは「住民に役立つ仕事したい」と願っており、職員に依拠した運動がいかに大切かをあらためて感じた。「政治活動制限条例」や相対評価本格実施が予想されると、民



川津代議員 (総務農林支部)

職場点検活動の大切さを実感



坂代議員 (保健所支部)

緊急自宅対応業務の時間外支給を実現

引き続き行われている。また、台風12号の被災地へも派遣を行っている。しかし、現地では復興がすすんでいない状況だ。人員削減のもとでも、被災地復興に役立ちたいの思いで職場の支援により派遣されている。一方、職場では民間委託などが進められている。コストのみ優先され、マンパワーが足りない。住民サービスにも影響が出ては本末転倒だ。府民のためにより良い仕事ができる職場環境をめざす。

職場を基礎にした活動が大切

専門性を発揮し、誇りの持てる仕事を



鳴尾代議員 (土木現場支部)



池辺代議員 (府税支部)



代議員の発言

委員長あいさつ



執行委員長 橋口 紀塩

憲法と地方自治を守り、職場から仕事を見直す運動をすすめよう

政労機関紙を配布したことが国家公務員法の禁止する政治的行為に当たるとして起訴されていた国公法弾圧事件で、最高裁は無罪判決を言い渡し

きとの判断を示す画期的な判決となりました。「維新の会」が府議会に「政治活動制限条例」と「労使関係条例」を提出していますが、今回の

さなため、職場から仕事を見直す運動を進めてきました。府職労の取り組んだ住民懇談会では、府職労への期待もたくさん出され、中之島図書館

この間、多くの新しい仲間が府職労へ加入しています。さらに府職労を強く、大きくし、切実な要求実現をめざし、力を合わせてがんばりましょ

の廃止反対や公衆衛生研究所の独立行政法人化反対、住吉市民病院廃止反対の運動などを通じて、住民のみなさんとの共同も大きく進んでいます。憲法を守り、職場と暮らしのすみずみに生かす運動があらゆるところで求められています。住民とともに要求実現をめざす取り組みに全力をあげましょ。

原発再稼働反対をはじめ、あらゆる分野で自発的な国民運動が進み、共同も拡がっています。憲法を守り、消費税増税を許さない、原発ゼロ・TPP反対など、「い

のち」と暮らしを守り、人間らしく生き、働きたいという社会は、多くの国民の願いです。政治を変え、社会を変えたい

ました。この裁判は、公務員の政治活動と表現の自由が問われた裁判でしたが、最高裁は「公務員の政治的行為の制限は必要やむをえない限度に、その範囲が画されるべ

最高裁判決によって、これらの条例の違法性・違憲性がいっそう明らかになりました。府職労は、憲法と地方自治を守る立場から、職員基本条例の具体化を許

の廃止反対や公衆衛生研究所の独立行政法人化反対、住吉市民病院廃止反対の運動などを通じて、住民のみなさんとの共同も大きく進んでいます。憲法を守り、職場と暮らしのすみずみに生かす運動があらゆるところで求められています。住民とともに要求実現をめざす取り組みに全力をあげましょ。

職場要求の取り組みで仲間も広がる



小山代議員 (健康福祉支部)

支部は職場毎の実態や要求に照らし、要求の実現に取り組んでいる。緊急に保護する必要がある子どもを保護するための一時保護所は、満床状態が続いており、支部は長年にわたり増設を要求してきた。運動の結果、来年2ヶ所目が開設されることになった。現地調査や職場討議をして子どもが安全に守れる施設・体制をめざしている。職場の取り組みを通じ

大会役員のみなさんご苦労さまでした



議長 谷澤さん(成人病)<左> 貴瀬さん(健康福祉)<右>



議事運営委員長 山本さん(保健所)



資格審査委員長 有田さん(教委)

来賓



日本共産党 辰巳 孝太郎さん



新日本婦人の会大阪府本部長 川本 幹子さん



府職労退職者会会長 笹江 昭雄さん



大阪自治労連執行委員長 大原 真さん



住民共同で中之島図書館守る運動を



日置代議員 (教委支部)

府市統合本部会議での橋下大阪市長の発言で、中之島図書館の存廃が大きな話題となった。中之島図書館



浦出代議員 (総合医療センター支部)

職場を基礎に住民職員守る運動を

日本では、非正規労働者が増え続け、労働組合への組織率も低下し、多くの労働者が「労働者の当たり前の権利すら知らない」という状態になっている。橋下大阪市長が労働組合攻撃をしているが、組合の存在意義をかつて住民と職員を守る運動をすすめる決意だ。毎月1回は職場を回り、職員と顔見知りになり、職

府民の食の安全と健康に責任持てる仕事を



奥村代議員 (健康福祉支部)

公衆衛生研究所は、府民の健康や環境を守るための検査や調査・研究をしている。新型インフルエンザ発

実施が予想されるものと、民主的な職場を守るために、仕事を直す運動を進め、明るく民主的な職場環境活動強化したい。

府民のために仕事ができる職場を



樋口代議員 (土建支部)

東日本大震災の被災地への救援のために現地派遣が

職場労安全活動で働きやすい職場を



長池代議員 (保健所支部)

初めて職場の労働安全衛



井坂 (保健)

感染症等が発生し自宅対応した場合は時間外手当支給に向けた要求が前進している。府労組連の夏季要求でも取り上げてもらい、数回にわたる支部交渉を行う中で前進させてきた。しかし、現時点の到達点は、実際に電話している業務処理に要した時間のみで、相手と連絡が取れない「待ち時間」は認めないというもの。職場のさまざまな要求の実現をめざし、引き続き



鳴 (土)

支部には多くの職場があり、全ての分会に役員がいる状況にはなっていないが、職場を基礎にした活動を提起する中、分会体制のない職場でも全組合員参加で職場集会所が開かれるなど、組合員に依拠した取り組みが広がっている。組織拡大では、職場の役員や組合員からの対話が加入につながるなど、府職労への信頼が、組織の強化・発展につながっている。相対評価問題では、所属長からも府



池

相対評価の試行で、職場からは不満・不信の声が続出している。人事評価制度はこの十数年間、制度変更を繰り返すも職員の支持・納得は得られていない。どんなにがんばっても15%の職員に「レベル」を貼る相対評価では、職員のやる気も低下し、人材育成もできなくなる。「仕事を見直すアンケート」によって、多くの府税職員が、税務業務の民間委託は、納税者の権利や行政水準も守れなく

消費増税を許すな



藤江代議員 (府税支部)

職場の取り組みを通じて、新しい仲間も増えている。今後も仲間を増やし、要求実現にむけ取り組みをすすめる。



稲内代議員 (土建支部)

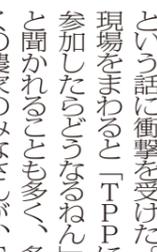
府営住宅の半減方針を橋下知事時代に決めたが、今年決めた府営住宅の計画では10年間で1万戸減らす計画である。府営住宅に入居したいという府民要求は強い。これは応募倍率にも表れている。府営住宅の建て替え戸数を入居者数以上に少しでも増やせば入居希望

農業界全体でTPP反対のたたかいを



藤原代議員 (総務農林支部)

先土木行政へ転換することを求められている。



鶴田代議員 (成人病センター支部)

風評被害に苦しむ農民の方の実態を聞いた。農作物を作っても出荷して売れるか分からない、消費者に喜んで食べてもらうのが仕事だが、先の見通しがたかないという話に衝撃を受けた。現場をまわると「TPPに参加したらどうなるねん」と聞かれることも多く、多くの農家のみなさんが、TPPの内容を理解していないことが分かる。JAなど



鶴田代議員 (成人病センター支部)

が反対しているが、分からないまま参加するという危険性をアピールすることが大事だ。

子育てしながら看護師も続けたい



鶴田代議員 (成人病センター支部)

が反対しているが、分からないまま参加するという危険性をアピールすることが大事だ。

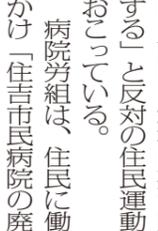
子育てしながら看護師も続けたい



鶴田代議員 (成人病センター支部)

が反対しているが、分からないまま参加するという危険性をアピールすることが大事だ。

子育てしながら看護師も続けたい



鶴田代議員 (成人病センター支部)

が反対しているが、分からないまま参加するという危険性をアピールすることが大事だ。

職員と顔見知りになり、職場の状況や実態も把握し、組合の存在を知らせ、要求の実現と組織拡大をめざしている。

深刻な看護師不足を解消せよ

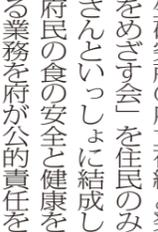


有井代議員 (呼吸器医療センター支部)

正規の看護師が集まらないため、非常勤や夜勤専従

る。新型インフルエンザ発生時も「公衛研で対応可能」と国の了承を得たため、迅速に対応できた。普段からの高い検査技術や国・保健所など関係機関との連携の成果だ。

切実な女性の要求実現めざす



安達代議員 (女性部)

域の「9の日」宣伝などにも参加している。大阪都構想に反対する堺での共同運動にも参加している。

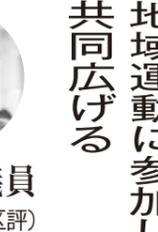
切実な女性の要求実現めざす



安達代議員 (女性部)

女性の要求は、毎年、視覚障がいのある組合員との懇談をしている。現業職の見直しや本庁の電話交換の外部委託に伴う仕事への不安が出された。また、セクハラ被害に対する対応問題や学童期の放課後の安全対策など切実な声をもとに、独自要求書を作成・提出し、団体交渉を行っている。今年度は出産に関する権利が行使されているかどうかを検証するため、妊娠・出産アンケートに取り組み予定。女性の要求は、働き続けていくうえで切実であり、職場の声を集めながら、組織拡大にもつなげたい。

地域運動に参加し共同広げる



相原代議員 (堺・泉北地区評)

私の職場は、子ども家庭センターの一時保護所だが、先日、同僚が「働き続けたいから」と府職労に加入してくれた。この3年間で新たに7人が加入している。職場要求をもとに声をかけることが大切。地区評では11月に総会を開催、集まりにくい職場からも参加があり、職場実態を交流した。地域運動も重視し、和泉市民病院を守る運動や地

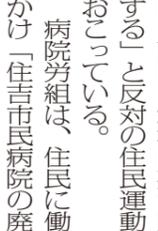
住民共同の重要性を実感



木村代議員 (南大阪地区評)

府市統合本部は、住吉市民病院を廃止し、急性期・総合医療センターへの統合を進めている。「住之江区、西区の地域医療が崩壊する」と反対の住民運動がおこっている。

住民共同の重要性を実感



木村代議員 (南大阪地区評)

病院長は、住民に働きかけ「住吉市民病院の廃止

病院長は、住民に働きかけ「住吉市民病院の廃止

病院長は、住民に働きかけ「住吉市民病院の廃止